

日本の英語教育は間違っている!?



NHKラジオのネイティブ講師に聞いた

「本当に英語が話せる方法」



人気シリーズの第3弾!

どんな素人でも 英語が話せるようになる 魔法の1冊

難しいことはわかりませんが、英語が話せる方法を教えてください!

著者：スティーブ・ソレイシィ、大橋弘祐

価格：1380円＋税
ISBN 978-4-905073-99-4
判型：四六判並製 288頁
発行：文響社

2017年
7月25日（火）発売

TOEIC320点のド素人が NHKラジオの講師に誰でも話せる方法を聞いてきた!

株式会社文響社は2017年7月25日（火）に、「難しいことはわかりませんが、英語が話せる方法を教えてください!」を刊行します。著者の一人は、スティーブ・ソレイシィ氏で「国際言語としての英語の教授法」の第一人者です。研究者として博士号を取得しているだけでなく、NHKラジオの講師を務めていて、企業の役員や海外に移籍が決まったアスリートなど数多くの日本人を指導してきた、英会話コーチのスペシャリストでもあります。

そして、そんなソレイシィ氏に英語を覚えてもらうのは、学校英語は真面目に勉強してきたものの、TOEICの成績は320点で外国人の前に立つと頭が真っ白になり、英語がひと言も出てこない“典型的な日本人”大橋弘祐です。

同シリーズで20万部突破のベストセラー、『難しいことはわかりませんが、お金の増やし方を教えてください!』と合わせて読んでみてはいかがでしょうか?

対話形式で
読みやすい

大橋弘祐



じゃあ、例えば TOEIC で 800 点をとって、知識を充分身に付けてから会話にとりかかったほうがいいのかということはないんですか?

ないね。野球選手がペーパーテストを受けて合格してから、野球の練習を始めるくらいナンセンス



スティーブ・ソレイシィ先生

contents

Chapter 1 考え方編

日本人は英語を難しく考えすぎていた！

Chapter 2 ペラペラ入門編

英語で道を聞かれたことや、海外旅行で困らないようになる！

Chapter 3 ペラペラ初級編

自分の思ったことを伝えられるようになるには？

Chapter 4 ペラペラ実践編

英語で日常生活ができるようになる！

Chapter 5 ペラペラビジネス編

英語を使って仕事ができるようになる！

introduction

Chapter 1 では日本人が抱いている英語学習への誤解や勝手な思い込みを解いていきます。これにより、英語が身近なものに感じられるはず。Chapter2 以降では、旅行からビジネスまでレベル別に何をどうやって学んでいけばいいの具体的な手順が学べます。

また、全体を通して、ネイティブの専門家と素人の掛け合いで展開するため、学習の本でありながら楽しく読み進められます。英語を勉強したいと思っている学生から社会人まで老若男女役立つ内容となりました。

author

スティーブ・ソレイシィ

アメリカン大学卒業。スピーキングを中心とした実践的な英語コミュニケーションの指導に携わり、2009年に国際言語としての英語の教授法をテーマにした研究で博士号を取得。1999年に始まったNHKテレビ『はじめよう英会話』に出演。2005年に米国フロリダ州の「TESOL(英語教育学会)」で最優秀論文賞を獲得。2012年よりNHKラジオ『英会話タイムトライアル』の講師。著書に『英会話なるほどフレーズ100』『英会話きちんとフレーズ100』『英会話ペラペラビジネス100』(アルク)、『英会話1000本ノック』(コスモビア)など多数。

大橋弘祐(おおはしこうすけ)

立教大学理学部卒。大手通信会社の広報、マーケティング職を経て、作家、編集者として活躍中。著書に、『SURVIVAL WEDDING(サバイバル・ウェディング)』『難しいことはわかりませんが、お金の増やし方を教えてください!』(文響社)など。

リリースのお問い合わせ

株式会社文響社 広報担当

TEL : 03-5575-5050

FAX : 03-5575-5051

E-mail info@bunkyo.com

日本人の英語を学ぶ必要性は右肩あがり

現在、日本の外国人観光客の数は年間 2400 万人です。2020 年の東京オリンピックまでに一層増加していくことと予測されます。また、外国人が訪れるのは都心部だけではありません。近年、日本の田舎を求めて訪れる外国人観光客も増えました。当然、外国人労働者も増えていますから、日本のどこにいても、英語を話す機会は訪れます。

エン・ジャパン株式会社が 3,412 名の 20 代～ 40 代の方に行った「2017 年、身につけたいスキル」についての調査によると、第 1 位は「英語などの語学力」を付けたいと思っているという結果となりました(※1)。

つまり、英語は必要性も増している上に、学ぶ側の意欲や関心も最も高いスキルだと言えます。

しかしながら、著者のスティーブ・ソレイシィ氏は、「多くの日本人が間違った方法で英語を勉強している」ことを大変危惧しています。

というのも、ネイティブ同士の英会話では難しい単語や文法を使っているケースは少ないので、英語を学ぶ場合、簡単な表現を使って実際に英語を話しながら身につけていくのが効率的で、ノンネイティブの国ではそのように身に付けていきます。ところが、日本人だけが TOEIC で高得点を狙ったり、何千個も単語を覚えたりと、英語を話すには、遠回りの勉強法をしているのです。

また、ソレイシィ氏は、数少ない表現であらゆる状況に対応する「釣り竿英語術」や、知らない単語があっても簡単な表現で対応する「連続文章」など、NHK ラジオで活躍する講師ならではの独自の英語習得法を教えてください。

英語学習のための、無駄なお金や労力はもうありません。具体的な英語学習法を専門家が“典型的な日本人”に教える非常に実用的な一冊です。日常会話からビジネス英語まで“ペラペラ”になること間違いなしです。

(※1)[https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/enjapanhp/wp-content/uploads/20170621163331/20170127_エンバイト\(2017年身につけたいスキル\).pdf](https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/enjapanhp/wp-content/uploads/20170621163331/20170127_エンバイト(2017年身につけたいスキル).pdf)

ソレイシィ流「釣り竿英語術」の例



I have a problem here. + わき腹を指でさす動作

＝わき腹が痛い



I have a problem with this. + モニターを指でさす動作

＝モニターの調子が悪い